

金谷地区における新たな移動手段の運行内容（案）について

○協議趣旨

金谷地区において、東京湾フェリーから亀田病院まで運行していた路線バス金谷線が令和6年3月末をもって廃止となったことを受け、地域の移動ニーズに合った新たな移動手段の導入に向けて地域住民と共に検討を進めている。

令和6年2月から地元区長会を中心に2回の勉強会、アンケート調査、ワークショップを行い、その結果に基づき、「金谷地区における新たな移動手段の運行内容（素案）について」を作成し、地区区長会に加えて、地区内の民生委員、ふれあい推進員が参加した本年11月の検討会議にて承認されたところである。

本議題では、検討会議にて承認を得た「金谷地区における新たな移動手段の運行内容（案）について」、その実施の可否についてご協議いただくものである。

なお、本件は素案として提示するものであり、実際の運営や運行方法等の詳細については、今後決定する運営主体との協議や運輸支局の指導等を踏まえ調整を行い、改めてご協議いただくことを予定している。

○これまでの経緯（概要）

令和 5 年度	
令和 5 年 10 月 22 日	日東交通路線バス金谷線の協議申出（路線の廃止）があったことについて、金谷地区区長会へ説明。 路線バスの存続、代替輸送手段の確保を求める意見。
10 月 24 日	鋸南町総務企画課へ訪問し、鋸南町コミュニティバスの延伸について相談。 令和 5 年 10 月 1 日から AI デマンド交通の実証運行を始め、並行して効果検証していることから、運行実績によってはコミュニティバスの存続に関わる話であるため、すぐに結論は出せない、との回答。 ただし、鋸山日本遺産認定の関係により、観光客の対策等で富津市と協力関係にあることから、金谷地区の移動手段について引き続き情報共有していくこととした。
11 月 15 日	千葉県バス対策地域協議会安房分科会の事務局（安房地域振興事務所）から路線バス金谷線の廃止協議に係る意見照会が送付された。 金谷地区区長会から存続を求める意見があったことから、運行の具体策として、一日の運行回数を 4 回から 2 回に減便する形での運行維持を希望する意見を回答した。
11 月 27 日	金谷地区区長会・諸岡市議会議員・市観光協会金谷地区長の連名にて「①路線バス金谷線の存続」「②鋸南町の町民バスを金谷フェリーまで延長」「③交通空白地有償運送の起業を応援」の 3 点についての要望書が市に提出された。
12 月 12 日	令和 5 年度第 1 回千葉県バス対策地域協議会安房分科会ワーキンググループ会議が開催され、出席。 富津市の意見としては、11 月 15 日に回答したとおり、運行維持を希望したが、運行事業者から、運転手の確保が

	困難であり運行の維持はできない、との回答であったことから、事務局（案）は「令和 6 年 4 月 1 日に廃止する。」となることが決定された。
令和 6 年 1 月 12 日	令和 5 年度第 1 回千葉県バス対策地域協議会安房分科会が開催され、安房分科会として廃止の方針が決定。 同月 24 日から県及び関係市町のホームページで公表。
1 月 31 日	鋸南町総務企画課に、以前相談した鋸南町コミュニティバスの延伸についての状況を確認。 AI デマンド交通の実証運行が令和 6 年 9 月末まで延長されたことにより、コミュニティバスは令和 6 年度も現行のダイヤで運行することが決定した、とのこと。 また、鋸南町からコミュニティバスの運行事業者に相談したところ、金谷地区と鋸南町を往来する際の通過点である明鐘トンネルが狭く、運行が難しい、との回答であったため、金谷地区への延伸は早期の実現が難しいと判断した。
2 月 10 日	金谷地区区長会議（第 1 回勉強会） 金谷地区区長に集まっていたき、説明会を開催。 「金谷地区における公共交通の現状と、地域に合った移動手段の検討について」を説明。地域の移動ニーズの把握のため、住民アンケートを実施することが決定した。
2 月 21 日	代表区長宅にアンケートを持参。 各区の区長回覧にてアンケートを開始。
令和 6 年度	
6 月 28 日	金谷地区区長会議（第 2 回勉強会） ①地域の移動手段導入事例、②アンケート結果の報告（R6.6 月区長回覧）、③アンケートで意見の多かった移動手段「乗合タクシー、スクールバスの活用、路線バスの再編」のメリット・デメリットについて説明。

	区長会での検討の結果、運行方法は、峰タク同様の「事前予約制乗合タクシー」、運行範囲の想定は「湊、金谷、鋸南の3地区」とする方向性に決定した。 今回は、民生委員やふれあい推進員など移動に困っている住民の実情に詳しい方を検討メンバーに加えて、運行方法や運行範囲等を具体的に決め、運行計画の素案を作るためのワークショップを開催することとした。
9月19日	金谷地区の新たな移動手段を考えるワークショップ（金谷コミセン） 区長（7名）のほか、民生委員（5名）、ふれあい推進員（6名：1名欠席）を加えたワークショップをA・Bの2班に分けて開催。 今回の会議は、今回の意見を基に市が運行計画（素案）を作成し開催することとなる。
11月14日	金谷地区における新たな移動手段導入に向けた検討会議（金谷コミセン） ワークショップ実施メンバー《区長（7名）、民生委員（5名）、ふれあい推進員（6名：1名欠席）》に対し、ワークショップやアンケート結果を基に作成した運行内容（素案）を説明し、協議していただいた。 交通空白地有償旅客運送について、先進事例（峰タク）の状況や補助金予算などに関する質問があったが、運行内容（素案）は、原案のとおり承認された。 今後の協議に関しては、来年1月の地域公共交通会議にて委員（各交通事業者の代表含む）に運行内容の説明を行い、実施の可否について承認を受け、交通事業者に対し実施に向けた協力ができるか確認する流れとした。 また、協力できる事業者がいなかった場合は、交通事業者以外で地域内の協力できる団体がいなか話合うこととなった。

○アンケート調査について

調査対象：金谷地区住民のうち、次のいずれかに該当する方がいる世帯で最も移動にお困りの方の意見を回答（各世帯で代表者1名の回答）

- ・65歳以上の方
- ・上記以外で、病気や障害等があり、自身で自動車の運転が困難な方

主な項目：回答者の属性、運転免許証の保有状況、通院の状況、買物の状況、運転への不安、送迎に対する不安、公共交通で感じる不便、どのような移動手段なら利用するか

回収票数：274件

調査結果：別紙「金谷地区アンケート調査結果（概要）」のとおり

○ワークショップについて

日 時：令和6年9月19日（木）18：00～19：30

出席者：金谷地区区長7名、民生委員4名、ふれあい推進員5名

場 所：金谷コミュニティセンター

実施結果：別紙「金谷地区の新たな移動手段を考えるワークショップ実施結果（概要）」のとおり

○金谷地区における新たな移動手段の運行内容（案）について

別添資料のとおり

○今後の流れについて

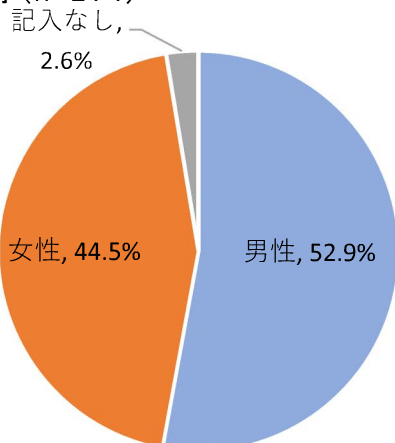
- ①本議題の承認を受けた場合、運営主体を地域内で検討
- ②運営主体決定後、運営や運行体制の協議及び整備
- ③地域公共交通会議で実証運行の実施について協議
- ④千葉運輸支局へ自家用有償旅客運送の登録申請
- ⑤周知広報活動の実施
- ⑥実証運行の開始

金谷地区アンケート調査結果（概要）

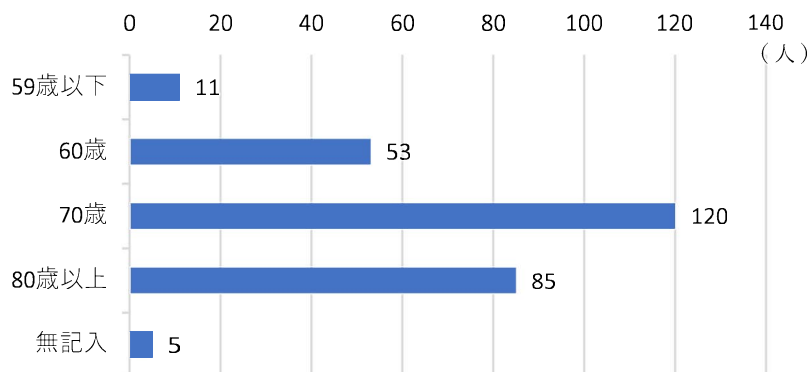
金谷地区における新たな移動手段の導入に向けて、地区住民の公共交通利用実態や移動ニーズの把握等を目的に、令和6年2月回覧で実施したアンケートのとりまとめ結果である。

1. 回答者の属性（性別、年齢、お住まい、世帯構成）

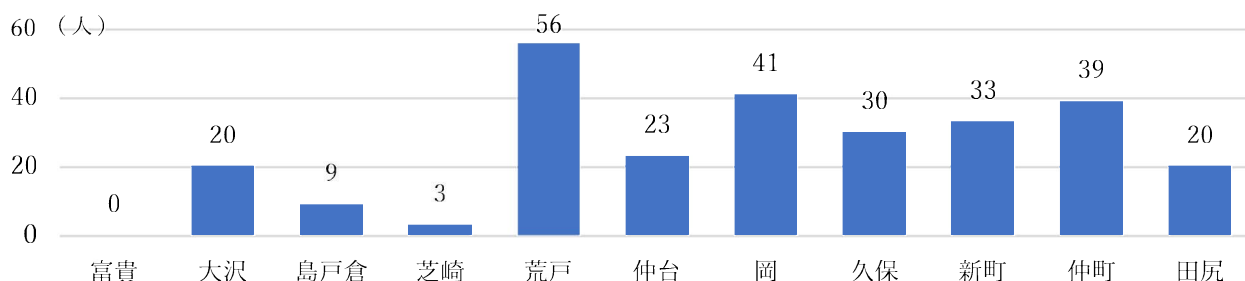
■ 性別 (n=274)



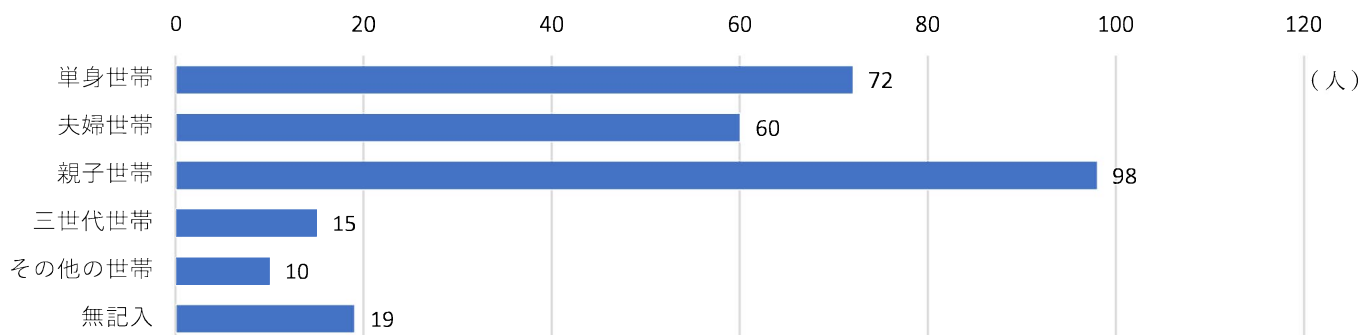
■ 年齢 (n=274)



■ お住まい (n=274)

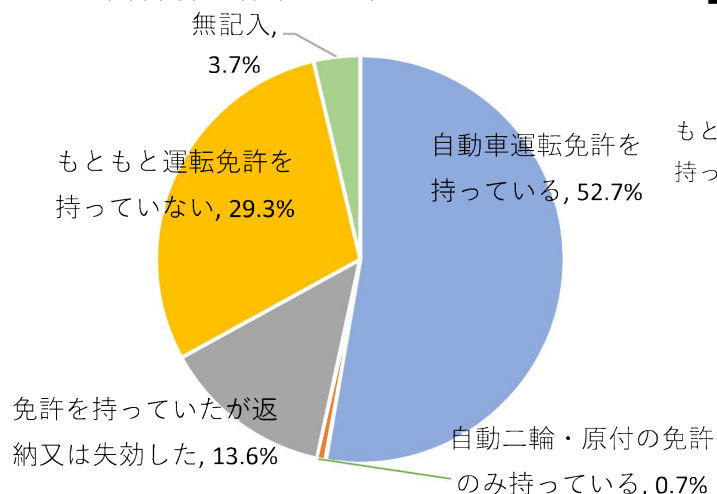


■ 世帯構成 (n=274)

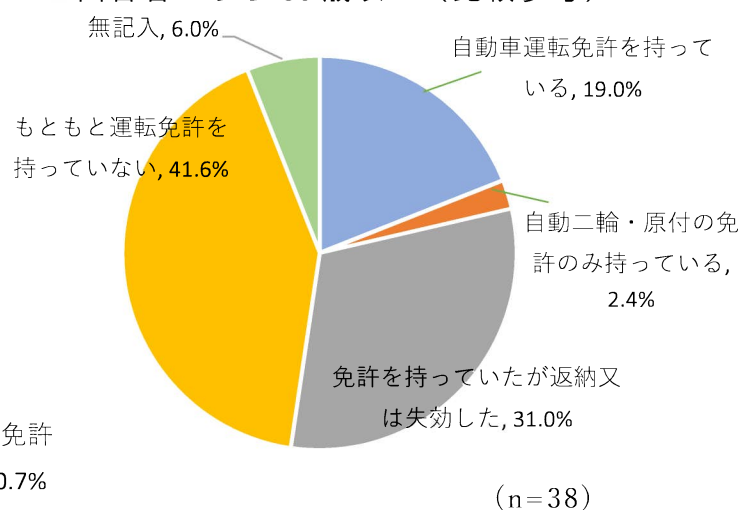


2. 運転免許証の保有状況

■ 回答者全体 (n=274)

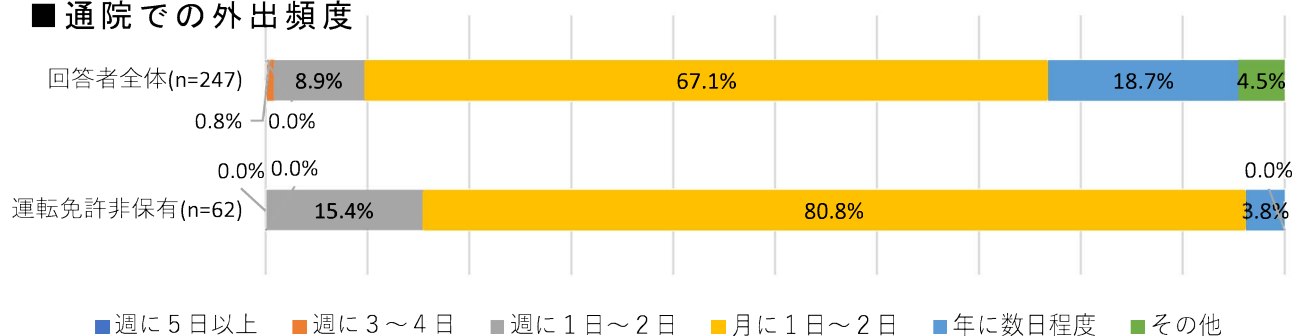


■ 回答者のうち 80 歳以上（比較参考）

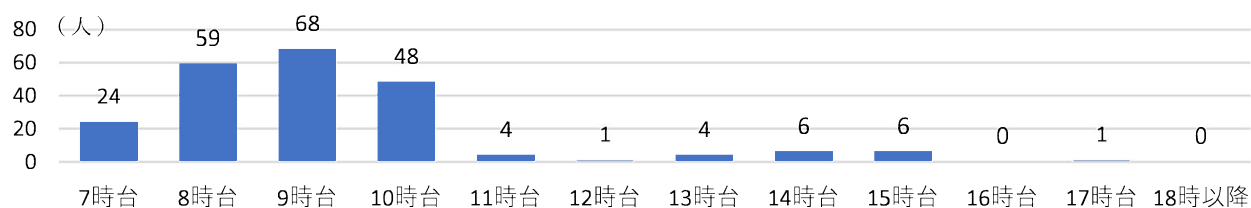


3. 普段の通院について

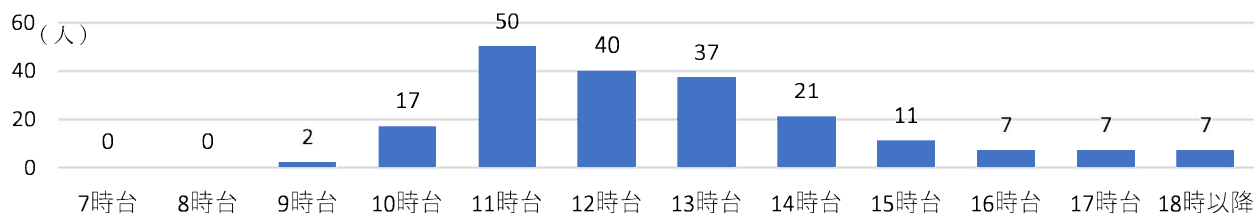
■ 通院での外出頻度



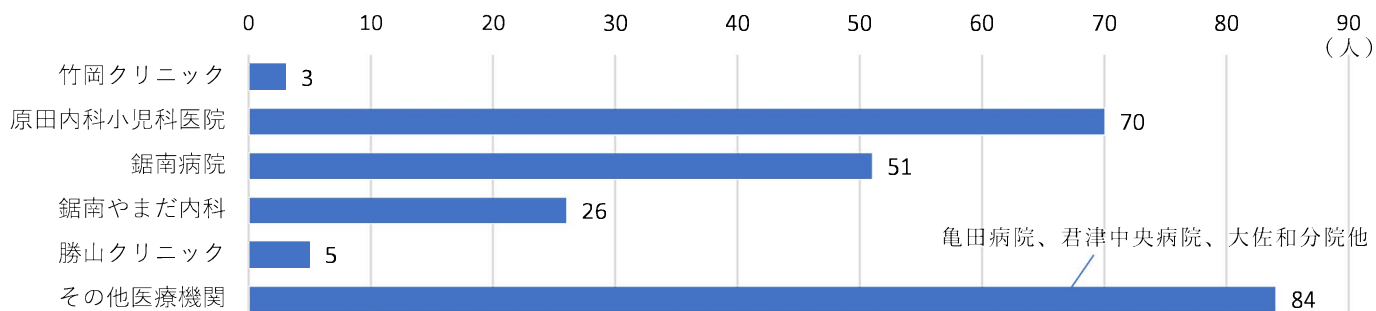
■ 通院で自宅を出る時間 (n=221)



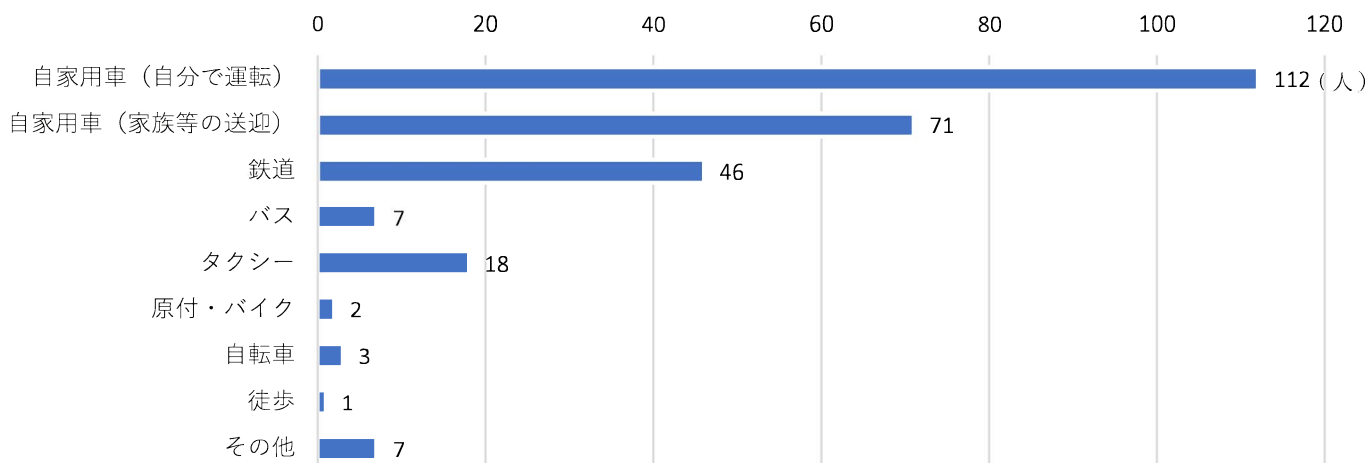
■ 通院で自宅に帰る時間 (n=199)



■ 通院先 (n=239)

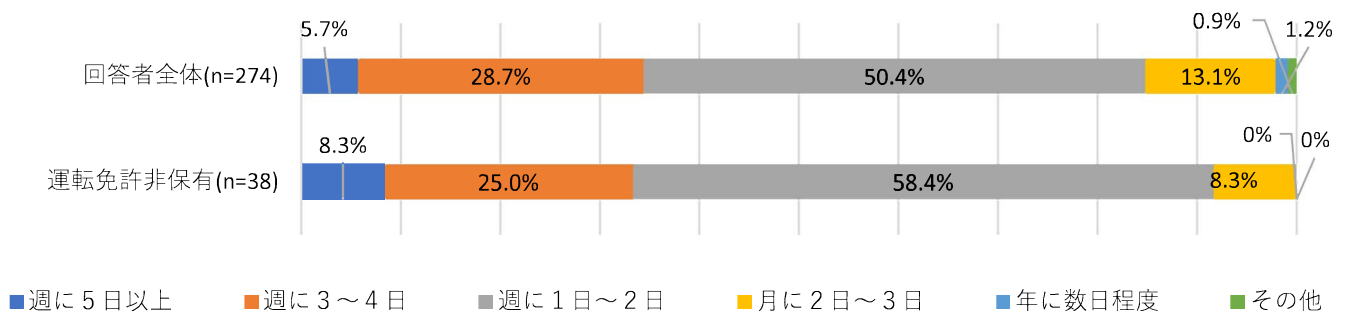


■ 通院する際に利用する交通手段 (n=267) ※複数回答あり

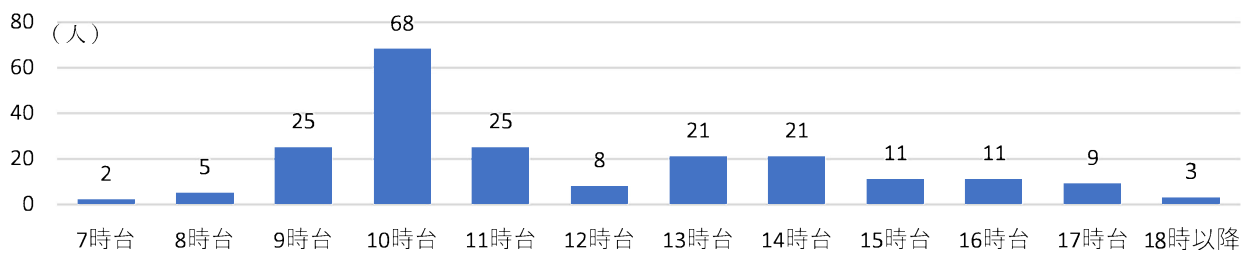


4. 普段の買物について

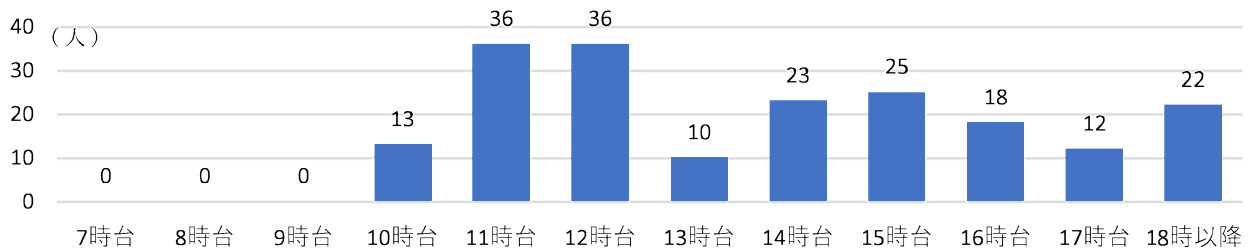
■買物での外出頻度



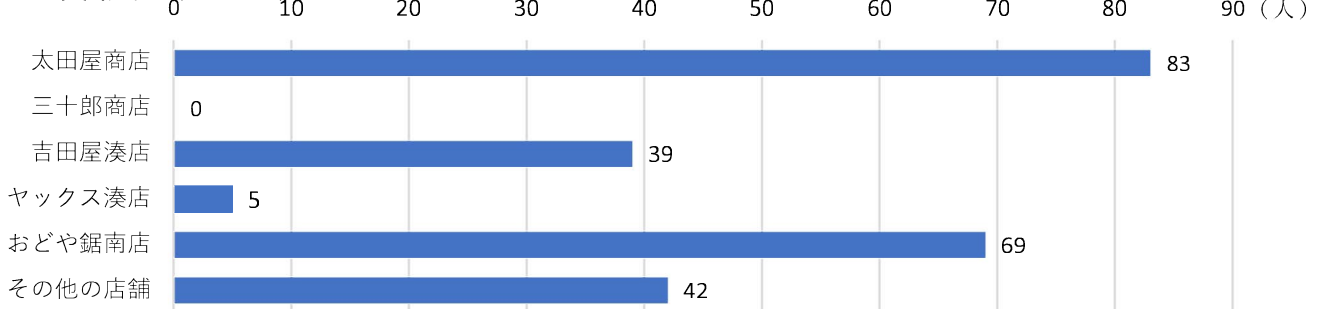
■買物で自宅を出る時間 (n=209)



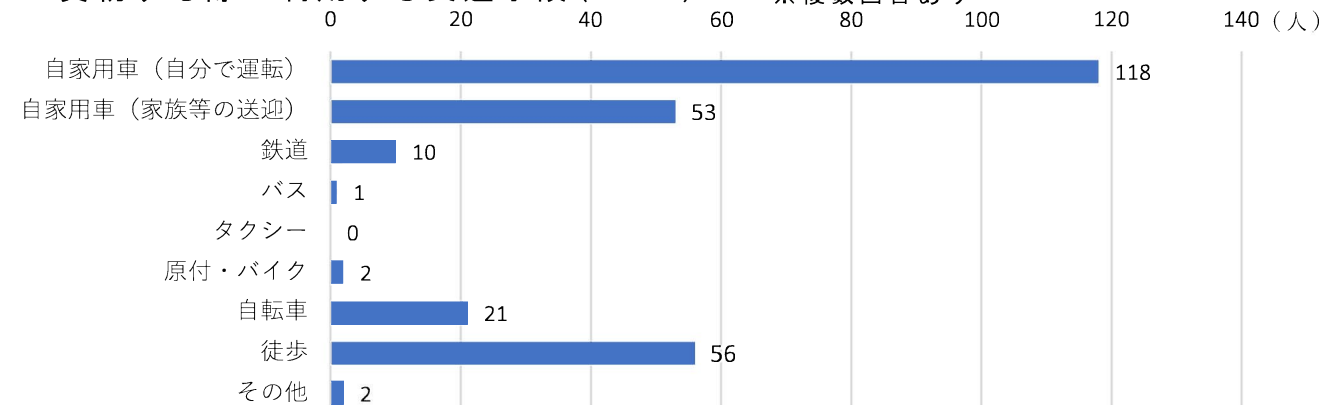
■買物で自宅に帰る時間 (n=195)



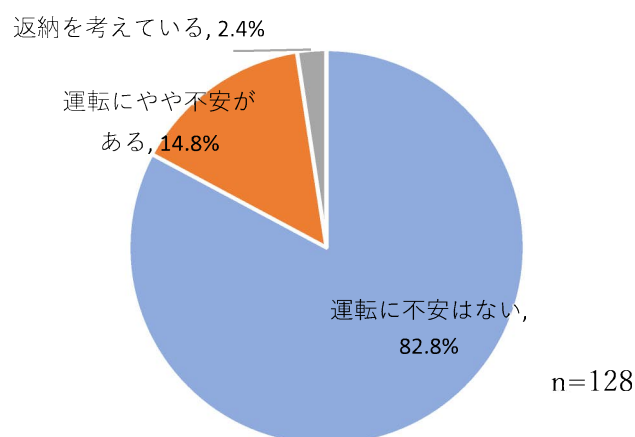
■買物先 (n=238) ※複数回答あり



■買物する際に利用する交通手段 (n=263)

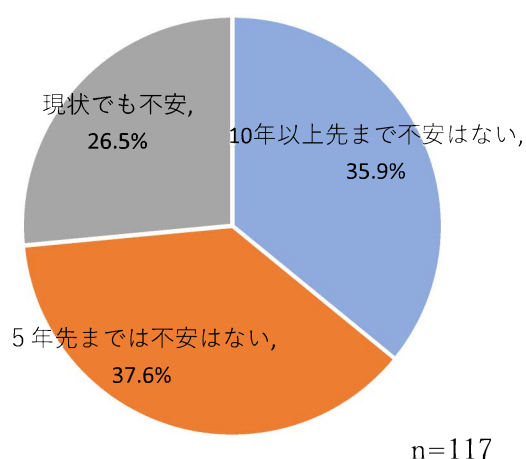


5. 自家用車等の運転への不安について（現在、ご自身で運転している方）

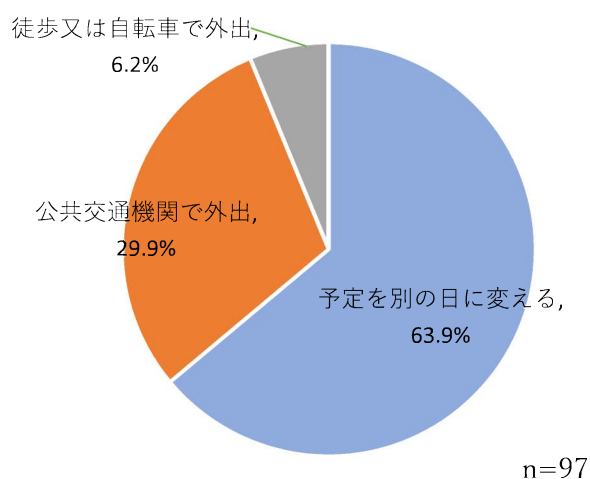


6. 送迎に対する不安について（現在、家族等の送迎で移動している方）

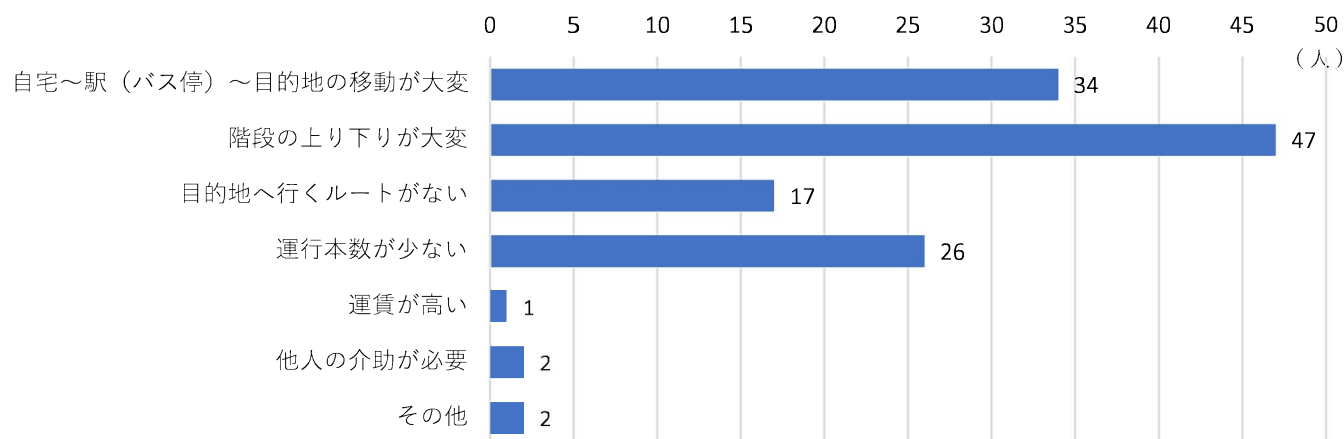
■送迎に対する不安



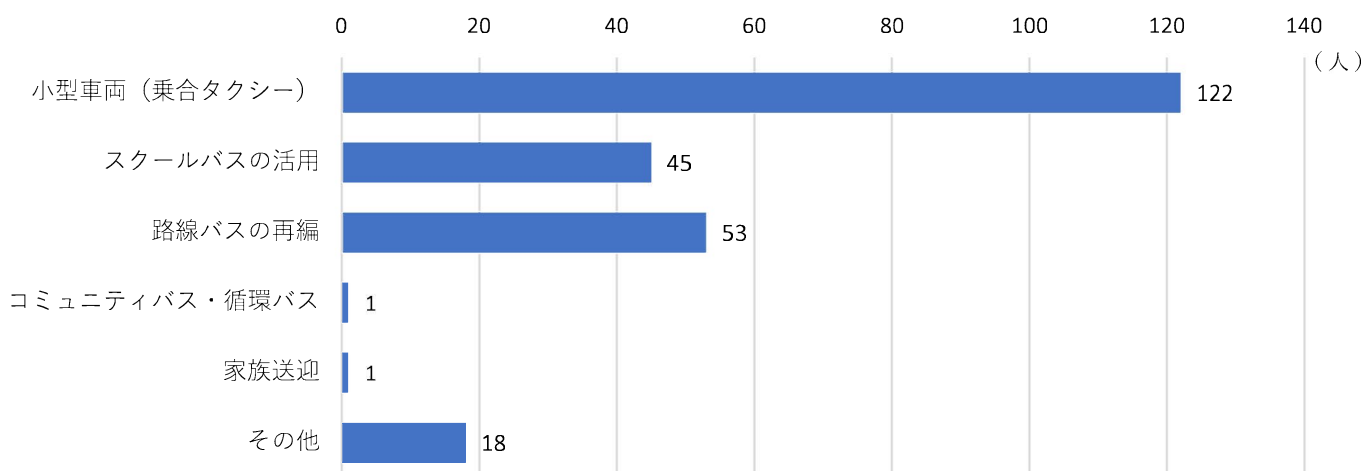
■送迎を頼めない時はどうしているか



7. 公共交通での外出の不便さ（公共交通を利用している方）（n=129※複数回答あり）



8. どのような移動手段であれば利用したいか (n=240)



■自由意見欄 26 件の記入あり。重複している内容は除き掲載。

スクールバスの活用に関する意見 1 件

鋸南町や岩井などで運行しているバス(コミュニティバス)がよい。

小型車両・乗合タクシーに関する意見 7 件

富津市独自として、民間の人で登録し、車を出せる人のリストを作る。(民間)タクシーのイメージ。)

IT 技術を使った配車サービスを検討してください。

今、介護タクシーは前もっての予約が必要。本当は必要な時に車が捕まらないのが現状。包括支援センターに相談に行ったが人手不足で対応できないとのこと。今は車の運転ができるのでよいが、この先年齢を重ね運動に自信がなくなったら、ここで生活していくのは不安です。

小型の車でよいので、一日に何回か運行してほしい。

乗合できる車両で、ある程度決まった時間帯を決める。また、予約とかで運行する。それら进行管理する場が必要。

9 人乗りの車の利用。乗降場所を決め、時間、ルートで運行。

路線バスが今でもない状態なので、乗り合いタクシー等を利用するようにしてほしいが運賃が高いのは困る。

路線バスの再編に関する意見 2 件

市外で利用している。ミニバスで運行して、バスが利用できるとよい。

日東バス金谷線を廃止せず、富津湊線と系統を統合した上で市役所に向かう便があると助かる。

その他意見 6件

現在、下肢に問題があり、悪化したり数年後運転免許の返納も含め、自力交通移動に苦戦すると思うので市行政の貢献を願望いたします。
金谷の里で使用している車を昼間利用できないか？
日本全国での実施事例の収集や、その中から富津市に適した事例をアレンジすれば使える事例などを見つけるのが一番だと思います。持続可能で採算性も確保した内容での検討を望みます。
鋸南のほうが金谷から近い。亀田病院、鋸南小戸や、病院、鋸南へのルートがない。
歩くこと、荷物を持つことなど大変になってくると思います。自宅から乗せていただくことが一番よいかなと思います。
障がい者のため、バス、タクシー自由に目的地に移動できない。
施設と市が契約を結び、補助金を出し、使用したいときに本人が施設に連絡し安い料金で送迎してもらう。
自分も、家族も運転できるので今のところはわかりません。
免許証を返納した後、大変不便になると思うので返納する決心がつきません。
病院の先生が午前中なので、タクシーを頼むときは予約しておく。

金谷地区の新たな移動手段を考えるワークショップ 実施結果（概要）

1 開催概要

（1）進行プログラム

① 開会（鳶津代表区長）

民生委員、ふれあい推進員を加えたワークショップの開催に至った経緯

② 市挨拶（石井部長）

部長挨拶、市担当者紹介

③ アンケート調査結果の報告（三木課長補佐）

金谷地区の移動困難者向けに実施したアンケート調査結果について報告

④ 移動手段の導入事例の紹介（三木課長補佐）

市内及び近隣市の導入事例について紹介

⑤ ワークショップの趣旨説明（東出）

ワークショップの進め方

⇒2班（A・B班）に分かれ、設定項目について各自意見を出し合い、各項目について班員で議論し意見をまとめ、発表する。

⑥ワークショップ「金谷地区における新たな移動手段について」（進行：三木課長補佐、東出）

ワークショップ「金谷地区における新たな移動手段について」

※アンケート結果を踏まえ、仮設案で検討した方向性（内容）

1 運行形態	※マンモト（予約制）タクシーで白地までドア・トゥ・ドア
2 乗込の位置付け	※日常生活圏内での移動
① 利用対象者	※利用対象者の範囲 例：金谷地区住民のみ、金谷地区に暮らすまたは通勤が在籍
※乗込補助が金庫等方格、金庫タクシーを利用していたらどこに在籍します。	
② 運行エリア	例：〇〇地区、〇〇商店街 ⇒ まどろもを金谷地区および〇〇地区、〇〇地区
※乗込の生活での具体的な移動の目的を複数挙げ、乗込時にエリアを決めてください。	
③ 運行車両	※乗込の車両など 例：乗込専用バス（例）
④ 運行日	※乗込であれば予約日の設定も 例：第2日運行（火・金）、前日に予約受付
⑤ 運行時間帯	例：8:00～18:00、予約は運行日前日 8:00～12:00
⑥ 運賃	例：1回の乗込ごとに地区内 500 円、地区外へは 1,000 円
⑦ 年会費等の設定	例：乗込専用バス、乗込専用バスで 1,000 円

※ご意見をワークシートから付せんし、提出用紙に貼ってください。



⑦次回に向けて、閉会（鳶津代表区長）

・本日のワークショップ結果を踏まえて市が運行計画（素案）を作成し、次回協議を行う。

2 ワークショップの主な意見一覧

A班

※アンケート結果を踏まえ、区長会で検討した方向性（内容）

1 運行形態 デマンド（予約制）タクシーで自宅までドア・トゥ・ドア

2 運送の位置付け 交通空白地有償運送事業

① 利用対象者（※利用対象者の範囲 例：金谷地区住民のみ、金谷地区に本人または親族が在住）

金谷地区住民

金谷地区住民

金谷地区住民

金谷地区住民
のうち登録者

金谷地区住民
のみ

② 運行エリア（例：〇〇病院、〇〇商店 ⇒ まとめて金谷地区および湊地区、鋸南町保田地区）

金谷～保田（おどや、病院）
金谷～上総湊（農協・銀行・吉田屋）

金谷地区、湊
地区、鋸南町

湊地区、鋸南
町

鋸南病院、
山田医院

病院～商店
たまに亀田病院に行してほしい

③ 運行車両（車種や定員など 例：6人乗りワンボックス1台）

軽ワゴン車

軽ワゴン車

軽ワゴン車

6人乗りワ
ンボックス

足の悪い人でも乗り
降りできる車が良い

できればワンボックスの方が
乗り降りしやすい。人数が少
ないと経費の問題も

④ 運行日（必要であれば予約日の設定も 例：週2日運行（火・金）、前日に予約受付）

週2日程度
要予約

週2日（火・金）
要予約

週2日運行
前日予約

週2日運行

週2日ほど

週2日

週3日

⑤ 運行時間帯（例：8:00～16:00、予約は運行日前日 8:00～12:00）

8:00～15:00

8:00～16:00

9:00～15:00
予約 8:00～12:00

9:00～16:00
予約 8:00～12:00

お年寄りには午前中の方
がいいのでは

⑥ 運賃（例：1回の乗車ごとに地区内500円、地区外へは1,000円）

地区内 300円
地区外 500円

地区内 300円
地区外 500円

地区内 300円
他地区 500円

地区内 500円
地区外 700円

地区内 500円
地区外 1,000円

お金の問題は予算も
関係するのでは？

⑦ 年会費等の設定（例：事前登録制、登録世帯単位で1,000円）

事前登録制
1,000円

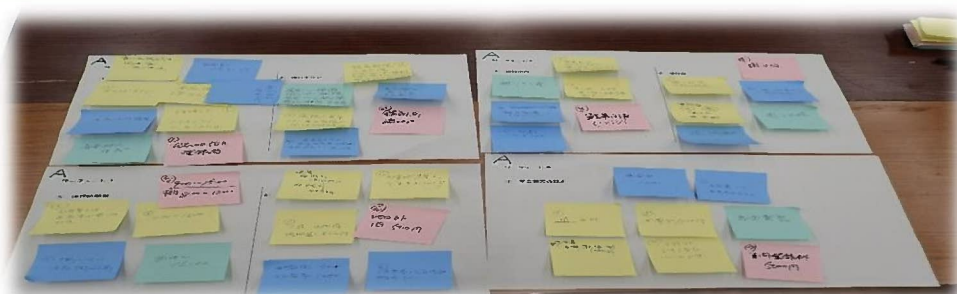
世帯で
1,000円

年会費
1,000円

年会費 700円
利用者が増える

利用登録料 500円

年会費制



B班

※アンケート結果を踏まえ、区長会で検討した方向性（内容）

1 運行形態 デマンド（予約制）タクシーで自宅までドア・トゥ・ドア

2 運送の位置付け 交通空白地有償運送事業

① 利用対象者（※利用対象者の範囲 例：金谷地区住民のみ、金谷地区に本人または親族が在住）

本人または
親族が在住

金谷地区の
住民

金谷地区の全ての住民
で利用したい人の登録

ぶちバスわだちの形で

② 運行エリア（例：〇〇病院、〇〇商店 ⇒ まとめると金谷地区および湊地区、鋸南町保田地区）

金谷地区、湊地区、
保田地区

金谷、湊（吉田屋、ヤックス、原田内科）、
保田（おどや、鋸南病院、やまだ内科）

金谷地区から湊地区
金谷地区から鋸南町保田地区

大貫方面
（市役所、加藤大介クリニック）

金谷から青堀のイオンまで
（途中に西大和田のおどや、市役所に寄る）

君津中央病院
亀田病院

③ 運行車両（車種や定員など 例：6人乗りワンボックス1台）

6人乗りワンボックス（乗合を想定）

6人乗りワンボックス

ワンボックス（軽自動車）

④ 運行日（必要であれば予約日の設定も 例：週2日運行（火・金）、前日に予約受付）

週2回
（火・金）

週2回
（火・金）

週3回（月・水・
金）前日予約受付

週3回程度

毎日
（土日除く）

通院 週1回 買物 週2回
程度行けるように

⑤ 運行時間帯（例：8:00～16:00、予約は運行日前日 8:00～12:00）

午前中～13時まで

8:00～16:00

8:00～16:00

8:00～16:00
予約は前日 8:00～11:00

通院等の行き帰りに合わせた
時間にできるか

⑥ 運賃（例：1回の乗車ごとに地区内500円、地区外へは1,000円）

片道
200～300円

保田地区 200円
湊地区 300円

金谷地区 200円
湊地区 800円
保田地区 500円

地区内 500円
地区外 1,000円

金谷地区内 0円

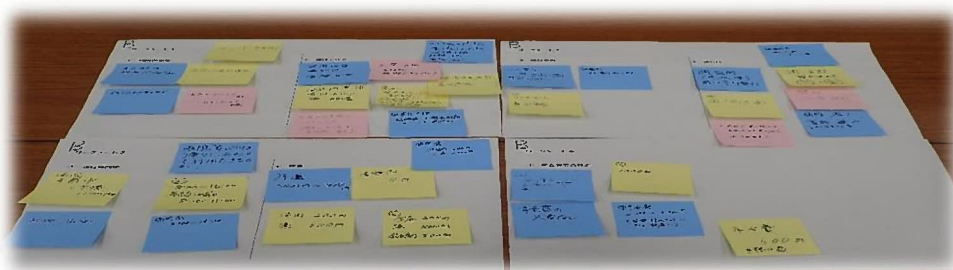
⑦ 年会費等の設定（例：事前登録制、登録世帯単位で1,000円）

500円
（手軽な額）

1,000円

2～3,000円
（保険料の足しになる程度）

年会費の必要なし



3 ワークショップの結果（各班でまとめた意見）

項目	A班	B班
「金谷地区における新たな移動手段について」 ※運行形態はデマンド（予約制）タクシーで自宅までドア・トゥ・ドア		
利用対象者	金谷地区住民	金谷地区住民
運行エリア	金谷地区 湊地区（病院、吉田屋、ヤックス） 鋸南地区（病院・おどや） 亀田病院、君津中央病院、銀行	金谷地区 湊地区 鋸南町保田地区
運行車両	軽ワゴン車、6人乗りワンボックス	ワンボックス（軽自動車）
運行日	週2～3回	週2回（火・金）事前予約制
運行時間帯	8:00～16:00、9:00～15:00 （予約は前日 8:00～12:00）	8:00～13:00
運賃	地区内 300 円、500 円 地区外 500 円、700 円、1,000 円	地区内 100 円 地区外 500 円
年会費等	1 世帯当たり 500 円、700 円、 1,000 円	1 世帯当たり 500 円

↓ワークショップの結果（各班の代表者が項目ごとに意見をまとめ発表）

①利用対象者 A班: 金谷地区住民 B班: 金谷地区住民	②運行エリア A班: 亀田病院 中央病院 鋸南町 → 病院 おどや 上総湊 → 病院 吉田屋 ドラッグストア B班: 金谷・鋸南 湊	③運行車両 A班: 軽ワゴン車 6人乗りワンボックス B班: 軽自動車 ワンボックス	④運行日 A班: 週2～3日 B班: 週2日 (火・金曜日)
⑤運行時間帯 A班: 8:00～16:00 9:00～15:00 B班: 8:00～13:00	⑥運賃 A班: 地区内 (回300円) 300・500円 地区外 500・700・1,000円 B班: 地区内 100円 地区外 500円	⑦年会費等の設定 A班: 世帯ご 1,000円・700円・500円 B班: 500円 (世帯)	